



発行元：
株式会社サポート・ワン・サービス
〒496-0036
愛知県津島市愛宕町四丁目113
代表TEL:(0567)26-3921
FAX:(0567)26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

お楽しみ会 / S・O・S

月に一度、お楽しみ会を行っています。今回は男性2名によるマジックショーでした。70歳前後かな？と思われる方々でしたが、とても生き生きと楽しく行って頂き、皆さん大喜びでした。

終了間際、突然、子ども獅子の訪問を受け、今度は小学生の皆さんの元気な「ワッショイ チロリン 花キッテチョ」にまたまた大歓声。

ナイス・デイ、ナイス・ホーム、愛宕の家の合同で行うため、普段とは違う雰囲気を楽しむことも出来、とても意義のある1日であったと思います。1人の利用者さんの最後のひと言「今日はあつという間の1日だったなあ…」そんな日があってもいいですよネッ。<E・T>



食欲の秋が来た～！ / 愛宕の家

暑かった夏から一変！急に涼しくなり、入居者さん達の体調も様々…。苦手な夏を乗り越え、めっきりお元気になられた方、喘息様の症状が出てしまう方、秋の花粉症に悩まされている方、日が短くなったせいか精神的に落ち着かない方など、現れる症状は人それぞれ。夏とはまるで違います。

私たちは、個々人の安定した体調という見方の基準を切り替えなければいけません。そんな中、ひとつだけ心配が減りました。それは皆さんの食事量です。夏は食欲がない方が多く悩みの種でしたが、最近ではほぼ皆さんが完食されています。さすが食欲の秋到来ですね。この秋に十分な体力をつけ、今度は寒い冬に負けないようにしていきたいものです。<A・H>

家政婦さんの利用の仕方 / つしま紹介所

市内に住むM・Kさん(83才)。広い家に一人暮らしです。この夏、持病の心臓の手術を受けた後も、「自分の家で暮らしたい」という気持ちが強く、週6回、1日2回の訪問介護を利用するようになりました。しかし、それだけでは広い家全体の管理が出来ず…。そこで、週1回程度の家政婦利用を見込み、介護保険では認められていない仕事を頼みたいと紹介依頼を受けました。具体的には、庭掃除・使っていない部屋のお掃除・病院や美容院への同行・体調に不安のある時は昼夜を通して泊り込んでほしい等の不安解消にも役立っています。離れて住んでいる娘さんともいざという時は家政婦さんに連絡をして、様子を見に行ってもらったりしています。主に介護保険制度での訪問介護を利用しながら、補助的には、必要に応じて何でも気楽に頼める家政婦さんを利用して、何とか無事に一人暮らしの生活を維持しています。家政婦さんは他人ではありますが、馴染んでしまえばまるで近くに住む親せきのような心強い存在になっています。<Y・I>

10月の利用状況

ナイス・ケア(定員なし)
…新規サービス大歓迎
愛宕の家(定員10名)
…入居者10名 満員御礼
つしま紹介所
…新規紹介者様大歓迎
ナイス・ホーム(定員17名)
…登録者17名 満員御礼
ナイス・デイ(定員10名)

日	月	火	水	木	金	土
4	6	7	8	8	7	8

(数字は定期のご利用者数)

募集中 満員
お気軽にお問い合わせ下さい

生活を共に考える / ナイス・ホーム

Kさん夫妻は2人とも車椅子が必要な状態です。突然、同居の息子さんが長期不在となる現実に直面することになりました。自宅で過ごす間、夫は可能な限りの身体能力を使い妻の生活を助けます。妻は夫にも障害があることを理解しているため、転倒しないかなど心配しながらも頼るしかありません。息子さんが不在となり、急遽ホームの連泊利用を行い、その間に生活全体を見直しました。

小規模としてどう関わったら今までの生活を続けてもらえるのだろうか…。スタッフが考え、訪問や通いの利用方法を提案しました。2人にも話しかけました。本人達は、分からないながらも“出来ること”&“出来ないこと”、そして2人の希望を話してくれました。一緒に考えた結果、サービスの仕切り直しです。9月初旬、自宅での生活を開始。この1ヶ月、「電池が無いんよ。」「一緒に買い物に行きたいんよ」と、日々多様な要望が出てきます。要望を全て受け入れるのは難しい。でも、まずは、一番の要望にある、「家で暮らしたい」という2人の生活を支えていきたい。<Y・O>



9日間の入浴介助 / ナイス・ケア

「一時的にしか退院できないが、最後の自宅生活になると思う。入浴介助をお願いしたい。」と退院前のカンファレンスで依頼内容がまとまりました。

夏に体調を崩すまでは、要介護認定も受けていない“自立”の方。請負サービス(実費)でヘルパーが訪問し、お掃除の援助をしていました。最近の様子なら要介護認定を受けてはどうか…と申請をお願いした矢先に、突然の入院。体調を崩し、約1ヶ月の入院生活の中、病状や本人や家族の意向を踏まえ、家族やケアマネさんとの話し合いが何度も行われました。医師からの許可も得ました。一時退院することになったのです。

体力が落ちたことに加え、これまで身体的な介護を受けたことがないIさんです。介護を受けること自体がストレスになるかも知れません。精神的苦痛にも配慮を要しました。また、出来るだけ体に負担のかからないように、入浴方法を検討し自宅での入浴が始まりました。

『体がえらいで入りたくないわ』と言われる日もありましたが、湯船に入ると体を伸ばし『気持ちええなあ』と微笑む姿に私達もホッとしました。9日間をご自宅で過ごされ、予定通り病院へ再入院されました。再入院して1週間後、Iさんは息を引き取られたそうです。ご家族と共にご自宅で過ごす貴重な時間の一端に関わらせて頂いたことに感謝し、ご冥福をお祈りします。<A・M>



看護師コーナー / ～誤嚥・嚥下障害～ 日々関わる中での疑問や不安を少しでも解決できたなら…

日々、誤嚥する危険性の高い人や誤嚥性肺炎の既往がある人と関わっていると誤嚥をしないよう色んなことに気を使う。誤嚥を防ぐにはどうしたらいいの？誤嚥してしまったらどうするの？こんな不安を抱えているだろう。ふとした日常で起こる疑問を少しでも解決できればいいと思う。

疑問1「今、むせただけ食事してもいいの？」…答え:「むせ」は気道に入りかかった異物を排泄しようとする生体の防御反応。姿勢はおかしくない？いつも入れ歯を使っているのに入れ忘れていない？むせやすい食べ物ではない？健康状態はいつもと同じ？と落ち着いて確認。少し息を整えて落ち着いてから、食事開始。それでもむせが続くようであれば相談を。



疑問2「誤嚥・窒息したらどうしたらいいの？」…答え:むせていれば安心なので、自分で吐き出してもらおう。むせがなければハイムリック法やスクイーピングという方法で咳を誘発し吐き出してもらおう。呼吸ができなくなった場合は、口に入っている食物を掻き出す 背中にもわって口を下に向け、腹部を勢いよく圧迫し腹圧をあげることで、強い呼気を起こして吐き出させる(ハイムリック法)、これでもダメなら吸引となる。ちなみに窒息の多くは介助を必要とせず、自分で食べている高齢者に時々起こる。

息子は1歳1ヶ月となり、数歩ではあるが歩くようになった。ご飯もモリモリ食べて元気の塊だ。豆類は窒息する可能性があるから絶対に食べさせるな！と主人に言われている…目の前のピーナッツを欲しがらる息子、あげちゃう私…訓練、訓練。でも、本当に危険らしい…です。<M・T>

太鼓教室、はじまりましたぁ～！！ / ナイス・キッズ

夏の宴で皆さんに「良かったよ」「感動したよ」と言って頂けたキッズの太鼓！！子ども達も太鼓が大好き。場所を構わず『ツクドン、ツクドン、ツクドンドン』と鼻歌の様に口ずさんでいました。そこで、隔週木曜日の科学実験教室に続いて、和太鼓教室も開始。金曜日16:30、『太鼓教室、始めるよ～』の声に『やるやる～』のひとつ返事。いつもおもちゃで遊んでいてもやりっ放しで片付くなんて怒られなければやらない子ども達。太鼓となると準備から片づけまで率先して参加する。

“ドンドンドコンドコンコドン”子ども達のやる気に、「来年の夏の宴に子供達の上達した姿を見てもらえるよう、私も上達しなくっちゃ！」といきごむ今日この頃である。<R・W>



編集後記

雨の日、訪問介護担当でデイサービスから帰宅する利用者さんを待っていました。通り過ぎる1台目の車はスピードを落とさずそのまま通り過ぎ、水しぶきがかかりました。2台目の車は傘をさして立っている私に気付き、スピードを落としてくれました。当然、水しぶきも、気になりませんでした。周りの状況を見て、気配り出来る人って気持ちの良いものです。私も見習って、運転の時もそれ以外の時も、気持ちに十分余裕をもって行動したいと思った出来事でした。<A・M>